

**プログラミング教育**

プログラミング教育は、学習指導要領に例示した単元等に限定することなく、多様な教科・学年・単元等において取り入れることが可能です。「小学校プログラミング教育の手引き（第一版）」の指導例を参考にして、各学校において工夫して多様な教科・学年・単元等に適切に取り入れていくことが望めます。

さらに、プログラミング教育は学校内外の様々な場面でも実施することが考えられます。

プログラミング教育の導入は、従来の指導方法を否定するものではなく、従来、教師が取り組んできた指導をよりやりやすくしたり、より豊かにしたりすることにも貢献するものだという理解をいただきたいと思います。

★ プログラミング教育(生活・総合)の授業を高谷にさせていただきます学級(学年)を募集しています。  
7月までに5時間程度の時間が必要です。「いいよ!」という学級は高谷までおっしゃってください。

(通電を制御するプログラム例)

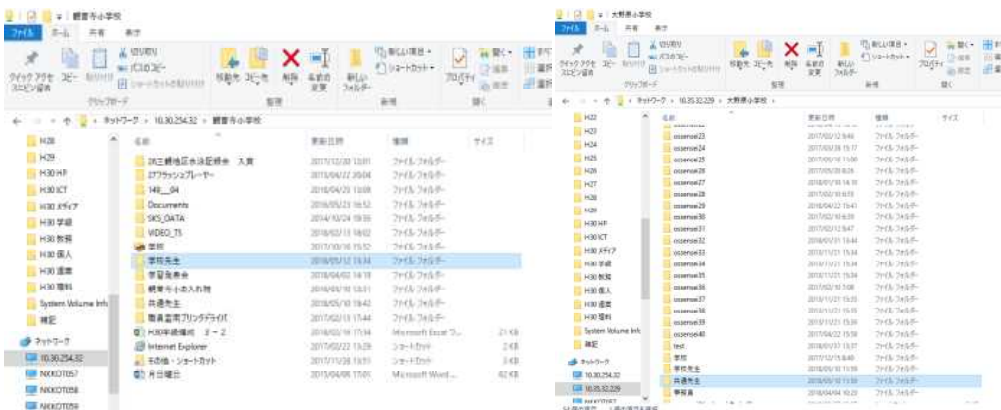


図5 小学校段階のプログラミングに関する学習活動の分類(例)

- A 学習指導要領に例示されている単元等で実施するもの
- B 学習指導要領に例示されていないが、学習指導要領に示される各教科等の内容を指導する中で実施するもの
- C 各学校の裁量により実施するもの(A、B及びD以外で、教育課程内で実施するもの)
- D クラブ活動など、特定の児童を対象として、教育課程内で実施するもの
- E 学校を会場とするが、教育課程外のもの
- F 学校外でのプログラミングの学習機会

**ご注意ください**

市のサーバーを保存場所にされている先生が多いと思います。いわゆる「学校先生」のあるファイルサーバーです。ここは、セキュリティーもしっかりしている上、バックアップも定期的にされているはずなので、校務用PCにデータを保存するより安全とされています。ただ、落とし穴があります。下のAの画面が本校のもの。Bが他の学校のものです。通常は、Bのように「学校先生」の他、「共通先生」「学校」「学校司書」など決められたフォルダがあります。そのうち、他校からアクセスできる権限があるのは「共通先生」のみです。ところが、本校はファイルサーバー上位に校内のデータを広げています。どういうことかお分かりでしょうか？つまり、そこにあるデータは他校から制限無しに閲覧・改変できるのです。大切なデータは「学校先生」フォルダに入れることをお勧めします。(夏季休業に入れば整理します。)



A

B

☆ちよっど一息☆

中古のエルモ L-12 と「かけるもん」セットの余分があります my 提示装置もちまませんか？興味ある方。価格は要相談です。

